

**【研究課題名】**

アミトリプチリンの睡眠と頭痛への効果に関する研究

**【研究機関】**

大阪回生病院 脳神経内科

**【研究責任者】**

田端 宏充

**【研究の目的】**

アミトリプチリンは三環系抗うつ薬であり、本邦における効果効能は、精神科領域におけるうつ病・うつ状態、夜尿症、末梢性神経障害性疼痛となっている。一方で、頭痛の診療ガイドラインにおいて、片頭痛と緊張型頭痛への予防薬としての記載があり、実臨床の現場においては、しばしば適応外使用がなされる。アミトリプチリンの頭痛への効果に関する研究は、ほとんどが海外のものであり、本邦において体系的に行われた研究は著者らの知る限り存在しない。

また、アミトリプチリンは、眠気の副作用を生じやすいことが知られており、患者への注意喚起も必要である。一方で、この作用は、不眠などの睡眠に問題を抱える患者に対しては良いように作用する可能性がある。

このような背景に基づき、本研究では、慢性頭痛に対してアミトリプチリンを投与した患者の診療記録を後方視的に解析し、アミトリプチリンの頭痛と睡眠に与える影響を明らかにすることを目標とした。

**【研究の方法】**

本研究では、令和3年4月1日から令和8年3月31日までに、慢性頭痛の治療としてアミトリプチリンを処方した患者さんの診療録を後ろ向きに情報収集・解析を行う。新たな資料の採取は行わない。

**【個人情報の取り扱い】**

利用する情報からは、お名前・住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

**【問い合わせ先】**

〒532-0003 大阪市淀川区宮原1-6-10

大阪回生病院 脳神経内科 田端宏充

電話 06-6393-6234